

学校における新型コロナウイルス感染症の現状及び対策等について

1 感染状況について

(1) 児童生徒及び教職員の感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
小学校	239	262	127	652	743	2,023
中学校	74	82	37	278	312	783
高等学校	9	45	3	18	26	101
教職員	16	25	9	48	59	157
計	338	414	176	996	1,140	3,064

(2) 学級閉鎖等の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
小学校	13	13	4	19	8	57
中学校	2	6	3	3	3	17
高等学校	0	1	0	0	0	1
計	15	20	7	22	11	75

2 感染拡大防止対策について

- (1) 身体全体の抵抗力を高めるため、適度な運動、バランスの取れた食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける。
- (2) 3つの密（密閉、密集、密接）を避ける等の予防策を徹底する。
- (3) 風邪症状がある場合は外出を控え、自宅で休養する。
- (4) 食事前後の手洗いを徹底し、食事中は飛沫を飛ばさないよう会話は控える。

3 学校行事の実施について

(1) 宿泊行事

県内における活動では、十分な感染拡大防止対策を講じて実施する。

県外における活動では、実施先の感染状況、受入先の意向、参加人数、移動方法など実施可能であることを十分確認のうえ実施する。

(2) 体育大会（運動会）、文化発表会（音楽会）等

実施する際には、内容の精選・時間の短縮・観覧者の制限等、可能な限りの感染拡大防止対策を講じるとともに、保護者への説明を十分に行う。

(3) 授業参観・オープンスクール

実施する際には、可能な限りの感染防止対策を講じる。

4 コロナ禍における熱中症予防について

(1) マスクの着用

体育の授業や運動会・体育大会の練習、運動部活動を実施するときや、登下校時には熱中症予防の観点から、マスクを外すように指導する。

その際、人と十分な距離を確保し、会話を控えることについても指導する。

(2) 適切な処置を行うことができる環境整備等

児童生徒がすこしでも体調に異変を感じたら、速やかにエアコンが効いている室内や風通しの良い日陰など、涼しい場所へ移動させる。

また、屋外での学校教育活動中における帽子の着用や涼しい服装での登下校や日傘の使用を推奨する。

(3) 水分・塩分の補給

屋内屋外問わず、活動前・活動中・活動後において、こまめに水分補給を行わせる。特に大量の汗をかいたり、強度の高い運動や作業を行った場合は水分だけではなく塩分も合わせて摂取させる。（スポーツドリンクや経口補水液を活用）